

令和 7 年度  
糸田町橋梁点検調査業務

特記仕様書

糸田町 土木課

## 第 1 章 総 則

### 第1条 【適用及び定義】

本特記仕様書は、「令和 7 年度 糸田町橋梁点検調査業務」に適用するものとする。  
本特記仕様書に述べる委託者とは糸田町をいい、受託者とは本業務の受注者をいう。

### 第2条 【目 的】

本業務は、「糸田町橋梁長寿命化修繕計画」における年次計画において、定期点検と位置づけられた橋梁を対象に近接目視による橋梁定期点検を実施することを目的とする。

### 第3条 【準拠する法令等】

本業務は、特記仕様書によるほか、下記の法令に準拠し実施するものとする。

- 1) 市町村における橋梁長寿命化修繕計画策定のための橋梁点検の手引き(案)  
(財団法人 福岡県建設技術情報センター)
- 2) 道路橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）  
(国土交通省 道路局 令和 6 年 3 月)
- 3) 道路損傷事例写真集 （国土交通省国土技術制作総合研究所）
- 4) 設計業務等委託・測量業務委託・地質調査業務委託共通仕様書  
(福岡県土整備部 令和 2 年 10 月版)
- 5) 測量法 （昭和 24 年法律第 188 号）
- 6) 作業規定の準則 （国土交通省 令和 2 年 3 月 31 日改正）
- 7) 糸田町財務規則
- 8) その他関係法令、規則等

### 第4条 【管理技術者】

管理技術者は、技術士またはシビルコンサルティングマネージャー（以下「RCCM」という）の資格保有者がつくこととする。

1. 技術士（建設部門）  
ただし、平成 13 年度以降の試験合格者の場合には、7 年以上の実務経験を有し、かつ同種・類似業務の実績を有する者。
2. RCCM（鋼構造及びコンクリート部門）  
同種・類似業務の実績経験がある者。

### 第5条 【橋梁点検者】

点検作業を実施する点検員のうち 1 名は、下記の資格等のいずれかを有するものとする。

1. 技術士（総合技術監理部門：鋼構造及びコンクリート、または、道路）
2. 技術士（建設部門：鋼構造及びコンクリート、または、道路）
3. R C C M（鋼構造及びコンクリート、または、道路）
4. コンクリート診断士
5. コンクリート構造診断士
6. 土木鋼構造診断士
7. 土木学会認定技術者（特別上級。上級：メンテナンス、または、橋梁）

また、「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格登録規定」に登録され、橋梁（鋼橋）または橋梁（コンクリート）に関する点検・診断のいずれかの資格を有する者についても対象とする。

### 第6条 【協議簿】

「甲」及び「乙」は、測量作業の実施中、指示または協議した重要な事項については、その内容等を別に定める協議簿に記録し相互に確認するものとする。

### 第7条 【工程管理】

「乙」は、工程表を変更する必要がある場合で、その内容が重要なときは、その都度変更した工程表を提出し、承認を得なければならない。

**第8条 【履行期間】**

本業務の履行期間は、契約締結日から令和7年3月27日までとする。

**第9条 【疑義】**

本業務内容において疑義が生じた場合は、監督職員と十分に協議して指示を受けるものとする。

**第10条 【契約変更】**

本業務において数量等に増減が生じた場合は、委託者受託者協議のうえ契約変更を行うものとする。なお、軽微な増減については、その対象としない。

**第11条 【土地の立ち入り等】**

本業務で現地に立ち入る場合は、特に言動等に注意し、住民とのトラブルを起こすことがないよう慎重な態度で業務遂行に当たらなければならない。

**第12条 【損害賠償】**

受託者は業務遂行中の事故及び第三者に与えた損害が生じた場合、速やかに委託者に報告し、すべての処理を受託者の責任において行うものとする。

**第13条 【権利の帰属】**

本業務において作成した成果品等の権利は委託者に帰属するものとし、受託者は委託者の許可なく複製・公表、または、第三者に貸与してはならない。

**第14条 【機密の保持】**

受託者は本業務に係わる一切の機密を厳守し、その成果を他に漏らしたり転用したりしてはならない。

**第15条 【再委託の禁止】**

受託者は、受託業務の主要な作業を第三者に委託、又は請け負わせてはならない。

ただし、特別な理由がある場合で、予め委託者の承認を受けたときはこの限りではない。

- 2 受託者は、前項ただし書きの規定により、予め委託者の承認を受けるときは、第三者との契約書等に個人情報の保護に必要な書類を明記し、委託者にその契約書等の写しを提出するものとする。

## 第 2 章 作業内容

**第16条 【業務概要】**

本業務の内容については、下記のとおりとする。

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| 1) 作業計画               | 1 式  |
| 2) 現地踏査               | 10 橋 |
| 3) 新技術活用検討            | 1 式  |
| 4) 現況調査               | 10 橋 |
| 5) 調書作成（健全度診断記録票作成含む） | 10 橋 |
| 6) 打合せ協議（中間時2回）       | 1 式  |
| 7) 関係機関との協議資料作成       | 1 式  |
| 8) 照査                 | 1 式  |
| 9) 報告書作成              | 1 式  |

**第17条 【貸与資料】**

本業務にあたり、委託者は下記の資料を受託者に貸与するものとする。

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 1) 橋梁台帳調書          | 1 式 |
| 2) 前回橋梁点検調書        | 1 式 |
| 3) 橋梁位置図           | 1 式 |
| 4) その他委託者が必要と認めるもの | 1 式 |

## 第 3 章 橋梁定期点検

### 第18条 【作業計画】

計画準備は、業務の目的・主旨を把握したうえで、全体工程や作業体制を検討し、業務計画書を提出し、委託者に承認を得るものとする。

2 橋梁台帳、前回橋梁点検調書を基に点検記録等関連資料を収集・整理するものとする。

### 第19条 【現地踏査】

現地踏査は、対象箇所の現地状況を確認の上、劣化状況、立地環境、交差状況、迂回路の有無、点検手法について整理し写真帳を含め、取りまとめるものとする。

### 第20条 【新技術活用の検討】

点検等に係る新技術活用について検討を行い、監督職員と協議を行うこととする。費用の削減や事業効率化などの効果が大幅に見込まれる場合は協議の上変更の対象とする。

### 第21条 【現況調査】

調査は、近接目視調査を基本に桁下状況を踏まえ、梯子、橋梁点検車等を使用し、調査を行うものとする。なお、交通規制を伴う調査が発生する場合には、関係機関との協議を踏まえて調査を実施するものとする。

調査内容は下記のとおりとする。

- (1) 形状寸法測定
- (2) 外観変状調査
- (3) 損傷の状態及び写真撮影

### 第22条 【調書作成】

調査結果を基に「市町村における橋梁長寿命化修繕計画策定のための橋梁点検の手引き（案）」の記入方法に基づき、橋梁点検調書を作成する。

2 道路橋定期点検要領：国土交通省 道路局（令和6年3月）に基づき健全性診断を行い、健全性診断記録票を作成する。

### 第23条 【打合せ協議】

打合せ協議は業務着手時、中間時、納品時を基本とする。

### 第24条 【関係機関との協議資料作成】

桁下条件により河川管理者や道路管理者等必要に応じて、協議資料を作成し、関係機関との協議を実施するものとする。交通規制が発生する場合には、所轄警察署へ「道路使用許可」の申請をおこない、許可を得るものとする。

また、平成筑豊鉄道に係る作業の際には工事管理者（在来線）の資格保有者を配置した上で、「事故防止（業務）計画書」及び「覚書」等を作成し、平成筑豊鉄道（株）と着手前協議を行い、起電停止措置や作業時間帯の調整を図るものとする。なお、着手前協議には、工事管理者（在来線）資格を有する者が立ち会う必要がある。

### 第25条 【照査】

設計図書に定める又は監督職員の指示する業務の節目ごとにその成果の確認を行うものとする。

### 第26条 【報告書作成】

業務実施内容及び点検結果を簡潔かつわかりやすく報告書にとりまとめる。

## 第 4 章 納 品

### 第27条 【検 査】

作業終了後、成果品について検査員・監督職員の立ち会いの基に検査を受けるものとする。また、成果品納入後誤りが発見された場合は、速やかに修正し納品するものとする。

第28条 【成果物の提出】

成果物の提出先および内容は、下記のとおりとする。

提出先 糸田町役場 土木課

成果物の内容

1. 設計報告書（年次計画書を含む）・製本版（パイプ式ファイルA4判） 2部
2. 報告書等電子データ（CD-R） 2部

令和 7 年度 作業橋梁一覧

※架設年度の ( ) 書は推定

番号	橋梁名	橋種	橋長 (m)	全幅員 (m)	橋面積 (㎡)	架設年次 (西暦)	最新 点検 時期	調査方法
								10 橋
1	松山橋	PC 橋	12.8	9.0	115.2	1977	2020	橋梁点検車
2	自由ヶ丘一号橋	RC 橋	3.0	4.4	13.2	(1973)	2020	梯子
3	上溝一号橋	RC 橋	2.7	4.6	12.4	(1973)	2020	地上
4	山の谷橋	RC 橋	5.5	3.6	19.8	(1973)	2020	地上
5	無田々一号橋	RC 橋	2.1	3.0	6.3	(1973)	2020	地上
6	木の実橋	RC 橋	2.2	6.9	15.2	(1973)	2020	地上
7	鼠ヶ池村池橋	RC 橋	2.7	4.6	12.4	(1973)	2020	地上
8	鼠ヶ丘橋	RC 橋	2.7	7.0	18.9	(1973)	2020	地上
9	堀川団地横断歩道橋	鋼橋	25.5	1.4	35.7	(1973)	2020	梯子
10	原二号橋	RC 橋	2.2	9.5	20.9	(1973)	2020	地上